

# 【日本天文学会理事会 議事録】

日 時：2001年1月13日(土) 11時00分～16時00分

場 所：国立天文台 三鷹 講義室

出席者：

- (1) 尾崎, 冢, 小山, 柴田, 大石, 紀伊,  
立松, 有本, 上野, 吉川, 沢, 橋本, 山岡  
出席者13名 欠席者 大谷, 牧島
- (2) 新理事 田原, 唐牛, 松田, 郷田, 松原, 大橋,  
茂山, 加藤, 松元, 黒田, 吉田, 山内  
(大石, 立松, 上野各理事は新理事兼任)

出席者12名 欠席者 なし

他に, 長谷川哲夫天文研連委員, 東條事務長が参加した.

議事に先立ち, 尾崎前理事長より挨拶があり, その後署名人を選出

議長：田原博人  
署名人：大石雅寿, 郷田直輝

## 議事の経過及び結果

前回(2000年10月7日)の理事会議事録が大石庶務理事より報告され, 承認された.

### 1. 2000年度事業報告について

2000年度事業報告について, 大石庶務理事より説明が行われた. 欧文研究報告の発行, 春秋の年会, それぞれ4回開催された評議員会, 理事会などに関する報告があり, 質疑応答の後, 承認された.

### 2. 2000年度収支決算報告について

2000年度収支決算報告について, 立松会計理事より説明が行われた. 特筆することとして, 欧文研究報告の投稿数増加に伴う収入増などがあげられた. また, 紀伊旧会計理事からも欧文研究報告関係の予算に関しての補足説明があった. また, 郷田庶務理事が監事の代理として, 2001年1月10日に行われた監査についての報告を行った.

以上の報告に対して, 議論の後, 原案が承認された. また, 監事から別途に提出された事業内容および会計に関するコメントが, 郷田庶務理事から紹介され, 議論されたのち, 収支決算書での項目のたてかたなどの問題点を今後さらに検討していくこととなった.

### 3. 新入正会員の承認について

新入正会員の名簿が, 大石庶務理事から紹介され, 22名の入会が承認された.

### 4. 2001年春季年会の準備状況について

2001年春季年会の準備状況について, 松元年会開催地理事から説明があった. 会場数は, 講演は7会場, ポスター発表は2会場であり, 3月25日に公開講演会を行う. さらに, 茂山年会理事から, 講演申し込みは, 446件, セッション数は, 18件(ジュニアセッションを1件含む)との報告があった. ま

た、吉川旧年会理事からジュニアセッションの申し込みが全部で12件であることが報告された。以上の報告に関して、質疑応答を行った。

## 5. 申し送り事項に関して

旧理事会からの申し送り事項として、下記のような議論があった。

### (1) 年会実行方法の検討

年会実行方法の検討に関して、吉川旧年会理事から申し送り事項の説明があった。特に、1講演の時間を減らして、パラレルセッションの数を減らすという提案もあり、講演時間と口頭発表の数やパラレルセッションの数についての問題、他に、講演の質の向上、記者会見の内容などに関して、議論がなされた。その結果、年会実行委員会で講演時間の短縮などについてさらに検討を続けてもらうこととなった。また、学会記者会見の場で、林忠四郎賞受賞者に関する報告を理事長から行うことが決定された。

### (2) 天文普及活動機関の支援に関連して

プラネタリウムなど天文普及活動機関の支援に関連して、加藤天文教育理事から天文教育委員会として、以下のような案を実施したい旨の報告があった。案としては、学会で、「一般向け講演会の講師紹介リスト」を用意し、科学館、プラネタリウムなどの天文普及活動機関に情報を提供する。また、講師は、tennetを通じて、公募するという主旨のものである。これに関して質疑応答を行い、理事会として本案を支持すること、本案に沿ってまず試行し、今後さらに改良してゆくこと、tennetへ講師公募のアナウンスを流すことが承認された。

### (3) 未納会費の徴収策について

未納会費の徴収策として会費の督促手数料を導入する案について立松会計理事が説明を行った。質疑応答の後、案を一部修正の上、督促手数料の導入が承認された。また、それにともない「会費に関する細則」を変更する必要がある、その案が提案されたが、詳細はさらに検討を続けることとなった。さらに、自動引き落とし優遇措置、学生正会員優遇措置に関しては、さらに検討を続けることとなった。また、会費の自動引き落としを全会員に課するかどうかについても、議論がなされたが、賛否両論があり、今後も検討を続けることとなった。

### (4) PASJに関する問題について

PASJの製作・販売を委託していたUAPとの債権・債務関係のトラブルの経緯について、大石庶務理事が説明を行った。また、尾崎前理事長、有本旧PASJ理事、紀伊旧会計理事から補足説明があった。質疑応答がなされ、本問題の円満な解決のために今後、弁護士を通じて対応していくことが承認された。

### (5) IAUアジア太平洋地域会議の日本開催について

IAUアジア太平洋地域会議の日本開催(2002年7月)について、長谷川哲夫天文研連委員より説明があり、天文研連と日本天文学会との共同開催としたい旨の提案があった。議論の後、共同開催を承認し、理事会より、上野宗孝天文月報理事をLOCに推薦することが決定した。

## 6. その他

### (1) 年会実行委員の追加について

年会実行委員追加に関して茂山年会理事より提案があり、電子メール申し込み受け付け担当として、鈴木知治氏に委員になってもらうことを承認した。

## (2) 科学者の意識調査について

UFOに関する科学者の意識調査を学術的目的として日本天文学会正会員に対して行いたいので、理事会のconsentが欲しいとの手紙が、寿岳潤氏（他2名の連名）より理事会にあったことが大石庶務理事会から紹介された。議論の後、個人的に調査されることは問題ないが、学会としては全く関与しない旨の方針が了承され、寿岳氏らには松田副理事長より返答することとなった。

## (3) 日本天文学会の汎用JPドメイン名について

日本天文学会の汎用JPドメイン名として「日本天文学会.jp」を登録する件について大石庶務理事より説明があり承認された。また、理事会の意向として「天文学会.jp」も登録することが要請され、技術的に可能であるならば「天文学会.jp」も登録申請することとなった。

## (4) 新賞の制定について

天体発見以外の大きな貢献に対して授与される新たな賞を制定することが、天体発見賞選考委員会で検討中であることが山岡旧年会開催地理事（天体発見賞選考委員長）から報告があり、質疑応答の後、次の理事会に案を提出してもらうことになった。

## (5) 次回理事会の予定について次回理事会の予定を以下のように決定した。

3月28日(水)

2001年2月2日

議長 田原博人 印  
署名人 大石雅寿 印  
署名人 郷田直輝 印

---

[天文学会ホームページに戻る](#)